

地球温暖化対策推進法に基づく 実行計画策定に係る事例紹介

公益財団法人北海道環境財団

山本 泰志

計画策定前に実施を推奨すること

ゼロカーボンシティの表明

- ・気候変動問題が深刻化する中、「**2050年カーボンニュートラル**」に向けた国内外の動きが**加速化**しており、各地域において脱炭素化と地域社会・経済活動の両立が重要な課題となりつつある。
- ・自治体としての**姿勢を表明**することで、**地域が一体となった取組み**の推進に向き合う。
- ・国においても再生可能エネルギー導入促進のための**枠組みと資金が整備**されてきている。

主要なステークホルダーとの関係づくり

- ・**地域全体の取組み**であり、地域の将来像を描くにあたって、地域内外の**多様な主体と議論**できる**土壌づくりが重要**

計画策定（区域施策編）の概要

区域施策編骨子例

区域施策編策定の基本的事項・背景・意義

- 策定の背景と意義
- 区域の特徴・計画期間など

温室効果ガス排出量の推計・要因分析

- ガスの排出状況（町域全体、**分野別（事務事業含）**）
- 温室効果ガスの将来推計

脱炭素ビジョンとシナリオ

- 削減目標（町域全体、**分野別（事務事業含）**）
- 将来のビジョン、目標達成に向けたシナリオ

温室効果ガス排出削減等に関する対策・施策

- 各主体に期待される対策

区域施策編の実施及び進捗管理

- 進行管理体制、評価指標など

事務事業編 改定

区域施策編検討に併せて、事務事業分野の排出状況の整理や、新たな事務事業削減目標の設定、整理が可能

計画策定（区域施策編）の概要

区域施策編骨子例

区域施策編策定の基本的事項・背景・意義

- 策定の背景と意義
- 区域の特徴・計画期間など

温室効果ガス排出量の推計・要因分析

- ガスの排出状況（町域全体、分野別（事務事業含））
- 温室効果ガスの将来推計

脱炭素ビジョンとシナリオ

- 削減目標（町域全体、分野別（事務事業含））
- 将来のビジョン、目標達成に向けたシナリオ

温室効果ガス排出削減等に関する対策・施策

- 各主体に期待される対策

区域施策編の実施及び進捗管理

- 進行管理体制、評価指標など

事務事業編 改定

区域施策編検討に併せて、事務事業分野の排出状況の整理や、新たな事務事業削減目標の設定、整理が可能

住民を巻き込む工夫が必要

再エネ導入戦略策定に係る当財団の考え方について

業務内容

地域の再生可能エネルギーの将来像を検討するに際しては、**再エネのポテンシャルなど技術的評価が求められる**のはもちろんのこと、**その目標達成に向けた地域住民の理解・合意が必要不可欠**である。そのことを踏まえて、それぞれの分野に強みを有する事業者（もしくは共同事業者）を適切に選定し、ソフト・ハードのバランスを踏まえた業務推進に努めることが重要と考える。

再生可能エネルギー導入戦略の策定 業務内容（案）

（１）地域特性の整理

地域の自然、社会特性を踏まえた温室効果ガスの現状推計及び将来推計を行う。

（２）再エネ導入ポテンシャルの検討

自然・社会条件を踏まえた再エネの種類、ポテンシャルを整理。

（３）再エネ導入目標量の検討

再エネ導入目標量を設定。（温室効果ガス削減目標も検討）

（４）再エネ推進のための戦略等の検討

費用対効果や近隣町との連携等を踏まえた将来ビジョン、脱炭素シナリオを検討。

【技術的評価が必要となる分野】

（５）戦略の進行管理のあり方検討

進行管理の手法や指標の検討、進行管理を担う庁内体制の整備等を実施。

（６）地域との合意形成等

ステークホルダーとの意見交換や、再エネ理解醸成を目的とした普及啓発を実施。

（７）再エネ導入戦略協議会の開催

調査方針や内容について検討を行う協議会を必要に応じて設置する。

（８）進行管理等

本業務推進に係る担当者間協議等の実施。

【住民理解・住民合意に係る分野】